



公益社団法人日本吹奏楽指導者協会 関東甲信越支部

令和8年度 春の研修会 巨匠の話を聞く

『クラリネット、航空中央音楽隊と共に歩んだ音楽人生』

講師 進藤 潤先生

日時 令和8年5月23日(土) 15:15~16:45

※ JBA 関東甲信越支部通常総会の都合で開始時間が多少遅れることがあります

会場 TKP 上野駅前ビジネスセンター カンファレンスルーム5A (5階)

JR 上野駅中央改札でて昭和通り歩道橋をわたり2分 東京メトロ上野駅2番出口徒歩1分

参加費 3,000円(先着70名様) 会員以外に参加できます

※講習会後懇親会あります 17:30~19:30 北京ダック専門店北京烤鴨店上野店(予定) 参加費 4,000円
懇親会だけの参加もできます 会員以外に参加もできます



進藤 潤

Jun Shindou

1941年中国大連生まれ、岐阜県大垣市出身。1964年国立音楽大学器楽科(クラリネット)卒業。航空自衛隊航空中央音楽隊に入隊、東京オリンピック演奏参加。1971年「ニュー・サウンズ・イン・ブラス」シリーズの先駆けとなった2枚のLP「ジス・イズ・バカラック」と「ロック・イン・ブラス」(CD復刻版有り)の録音で指揮者としてデビュー、岩井直薄氏らと共にポップス音楽を吹奏楽に持ち込んだ。前半「純音楽」・後半「ポップス」という演奏会スタイルを発案し定着させた。また照明や音響機材(PAアンプ)を初めて吹奏楽コンサートで使用した。東京芸術大学に一年間研修。1987年航空中央音楽隊長に就任。大喪の礼、即位の礼、ご成婚など多数の国家的行事で演奏指揮、年間100回以上の各種演奏のかたわら、米空軍ワシントンDCバンドに客演指揮、アメリカ・カナダへ自衛隊初の海外演奏ツアーを行い、CD録音は20枚以上行った。世界の優秀な軍楽隊に贈られる「スーザ賞」を日本で初めて受賞。2000年定年退官後は早稲田大学応援部吹奏楽団・明星大学・杏林大学の吹奏楽団を指導。現在は16年に及ぶ当団指導の他、大学生や部活顧問の先生方への指揮法レッスンを通して生涯学習をライフワークにしている。公益社団法人日本吹奏楽指導者協会(JBA)名誉会員、元関東甲信越支部長、空音OB会長。日本スーザ協会会員。平成24年度秋の叙勲において瑞宝双光賞受賞。

※参加お申し込みと詳しくはJBA関東甲信越支部ホームページをご覧ください

JBA 関東甲信越支部ホームページQRコード ⇒

